

婦 負 の 野



〒930-0143
富山県富山市西金屋5682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故)社浦 萩水先生

障害者差別解消へ法律・条例が施行

近年、障害のある人の権利擁護に向けた取り組みが国際的に進展しており、平成18年には「障害者の権利に関する条約」が国連総会で採択されました。日本は平成19年に権利条約に署名し、国内法の整備をはじめとする取り組みを進め、平成26年1月に批准しました。

国は、平成16年の障害者基本法の改正で、基本理念として「障害を理由とする差別の禁止」を明示し、平成23年の改正で、差別禁止の基本原則として「障害を理由とする差別の禁止」と「合理的配慮の提供」を規定しています。また、この基本原則を具体化するために、平成25年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）を制定しました。

障害や障害のある人に対する理解が徐々に深まってきているとはいえ、今なお、日常生活や社会生活の様々な場で、障害を理由とする差別や社会的な障壁があり、障害のある人は暮らすにくさを感じています。

こうした中、富山県議会では平成25年からプロジェクトチームで条例制定の検討を行い、すべての障害のある人が安心して暮らすことができる社会を実現するため、平成26年12月に「障害のある人の人権を尊重し県民皆がいきいきと輝く富山県づくり条例」を議員提案し成立しました。

この条例は、障害を理由とする差別の解消について、基本理念、県や県民の責務、障害を理由とする差別の解消に関する施策の基本事項を定めており、国の「障害者差別解消法」とともに、今年4月1日に施行されます。

めひの野園後援会長として、また県議会議員として、障害や障害のある人に対する理解を深め、県民みんながお互いにかげがえのない個人として尊重しあいながら、共にいきいきと輝く富山県づくりに取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

めひの野園後援会々長・富山県議会議員

五十嵐 務

職員研修で

1up!



78名が参加した今回の全体職員研修会。「障がいのある方には、個に合わせた合理的な配慮が必要」と東施設長。

めひの野園職員の人材育成、
専門性の向上を目的に

平成27年12月28日（月）、和倉温泉「のと楽」で、「めひの野園全体職員研修会」が行われました。

この研修会は、めひの野園職員全員を対象に、人材育成や専門性の向上を目的として毎年開催されていて、園の関連企業の方や、職員が講師を務め、それぞれの専門性を活かした講義が行われます。研修会を通して、支援に対する知識や理解を深め、利用者への支援を振り返る機会となっています。

1up!

DVD上映「自閉症スペクトラムの教育支援・就労支援」
うさか寮施設長 東 真盛

特別支援学校で行われている教育支援や、就労支援の様子を記録したDVDを見て、自閉症の生徒たちが自立に際して抱えている問題や、就労に向けた支援のあり方について学びました。

DVDでは、ある特別支援学校を卒業し、就職した方の事例が紹介されました。自閉症の方が仕事をするとき、自分が取り組む作業の量や、一日のスケジュールが分かりやすくなるように、作業場を「構造化」することが大切であることや、障がい者雇用にとってはアフターケアシステムが重要であり、企業と学校、家庭間の連携や、共通認識が大切であることを再確認しました。

DVD上映後の東施設長の講義では、障がい者の自立、社会参加には合理的な配慮が必要。いたずらに「平等」にするのではなく、個に合わせた支援、合理的な配慮を行うことが大切だとコメントがありました。

2up!

職員のライフステージ毎の
マネープランについて
(株)北陸銀行

「住宅購入」、「子どもの大学教育」、「老後生活」といった、人生の大きなイベントの際に、どれほど費用が必要で、そのためにどのように計画を立てて蓄えていくのかを、北陸銀行の社員の方の話を聞きました。

普段はあまり学ぶ機会がない内容で、長期的な展望で人生設計を考えていくことの大切さを学ぶことが出来ました。

3up!

電気の見える化について

日本テクノ(株)

うさか寮には、電力の使用状況が確認出来る装置が設置されていて、施設内の時間ごとの電力使用量が分かるようになっていきます。今回の日本テクノ(株)の話では、電気料金が決まる仕組みや、電気料金を低く抑えるためのポイントを学ぶことが出来ました。職員一同、節電に対する意識が高まりました。



電気の見える化装置により、電気の使用状況が一目で分かります。

4up!

施設研修記(太田ステージと
TEACH)

ウオーム・ワークやぶなみ 般若 敏雄

今年度「発達障害支援スーパーバイザー養成研修」に参加した般若支援員からの報告がありました。

埼玉県「社会福祉法人けやきの郷」では「太田ステージ」について、千葉県「社会福祉法人菜の花会」では「TEACH」について、それぞれ実務研修を受け、自閉症支援についての理解が深まるとともに、めひの野園の素晴らしさを改めて感じる機会になったとのことでした。

また、理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じていることが問題となっており、障害への理解を深め、間違った支援を修正するための人材を育成することに力を尽くしていきたいとの抱負が語られました。



埼玉県での実務研修中の般若支援員(写真右)。





5S活動により、分かりやすく整頓された、うさか寮の物品庫。

めひの野園では、生活環境委員会が中心となって、5S活動が進められています。「整理、整頓、清掃、清潔、躰」の頭文字を取って「5S」と呼びますが、特に自閉症の方が、生活や仕事をする上で大切な支援は、環境や空間を視覚的に分かりやすく整理してあげることです。この発表では、それぞれの事業所で取り組まれている視覚支援や、環境づくりが紹介されました。

6up!
利用者が安心して生活・働くことができる環境について
生活環境委員会

ストレス社会と言われる現在、職場の安全配慮義務において、精神疾患対策が重要視されるようになっていきます。そこで、緊急対応・衛生委員会から、平成28年11月末までに実施される「ストレスチェック」の概要や、医師による面接指導の実施、職場環境の改善のために行われる集団分析の実施について説明されました。

5up!
ストレスチェック制度について
緊急対応・衛生委員会



朝なかなか起きない利用者。あなたならどんな声を掛けますか？

人権擁護委員会のメンバーによって、障害者虐待防止法における虐待の定義について説明された後、利用者への言葉かけの改善策として、「ギザギザ言葉」を「まんまる言葉」に変換する手法が紹介されました。
相手を傷つける「ギザギザ言葉」を、相手を元気にする「まんまる言葉」に言い換え、相手を褒めてあげることが利用者の成功体験に繋がっていくとのことでした。
次に事例として、「朝なかなか起きない利用者」への声掛けをテーマにロールプレイが行われました。「自分だったらどのような言葉かけをするか」を考える機会になり、利用者への言葉かけについて、意識を新たにすることが出来ました。

7up!
人権を考えた支援について
「ギザギザ言葉から、まんまる言葉へ」
人権擁護委員会

次に、やねのうえのガチョウの石川主任から、現在のやねのうえのガチョウにおける合理的配慮とストレングスモデルの事例が紹介されました。職員の目指すものは「ティセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」の実現であり、そのためには、利用者の強みや長所であるストレングスを活かし、合理的配慮を以て苦手な面をサポートしていくこと、個々の特性や強みを把握するソーシャルワークの視点を持つことが必要であると報告されました。

まず、うさか寮の伊藤支援員から合理的配慮の事例として、リサイクル班作業場の環境整備や作業の提供について、また、二上棟での住環境の整理と工夫の事例が発表されました。そして、「合理的配慮を行う上では、利用者一人ひとりの特性を知るために、多くの視点を持ったアセスメントが重要」と報告されました。

4月1日に施行される「障害者差別解消法」のキーワードである「合理的配慮」と、めひの野園が大切にしている「ストレングスモデルの支援」をテーマに全体会が行われました。

発表者 伊藤 雄太
石川 権一
助言者 中田 匡園長
司会者 室 賢一

8up!
全体会 「合理的配慮」と
「ストレングスモデルの支援」
「ソーシャルワークの視点から」



「合理的配慮」と「ストレングスモデルの支援」がテーマの全体会

「ストレングスモデルの支援」
：利用者本人やその人を取り巻く環境に存在する「強さ（＝ストレングス）」を引き出し、支援していくという考え方。

Point

「合理的配慮」
：障がいのある人に対し、必要な環境整備などの配慮を行うこと。

が、自閉症の人たちを『自閉症だから』と見切ってしまうはいけません。出来ることを見つけてあげるといふ意味では、合理的配慮というのはめひの野園の原点です」とまとめられ、最後に「めひの野園の職員に求められる支援」として、①生活空間の構造化②時間の構造化③職住分離④作業空間の構造化⑤選択的作業⑥ワークシステムの構築⑦課題の組織化⑧「やってみせる」「見守ってあげる」「待つてあげる」（我慢強い支援の姿勢）という8点が挙げられました。

飛騨流葉牧場の Good Job 教えて!

飛騨地鶏の給餌作業の様子。現在7千羽以上の地鶏が平飼いで育っています。



今年1月1日から飛騨市の委託を受けてスタートした地域活動支援センター「飛騨流葉牧場」。前号(婦負の野106号)で特集記事を組んだところ、飛騨地鶏の生産以外にも、障がい者の自立と社会参加のために様々な活動に取り組んでいる様子に多くの反響がありました。そこで今回は、飛騨流葉牧場の活動内容を少し掘り下げて紹介します。

薪ストーブ用の薪の製造



使用しているナラ材は、ストーブに適した広葉樹薪の代表格。

住宅メーカーからの委託で、薪ストーブ用の薪を製造しています。材木は飛騨産のナラ材で、決められた長さに切り揃えた丸太を、機械を使って割っています。ここ数年、薪ストーブの人気の高まり、燃料となる薪の需要も伸びているそうです。

地域の神社の掃除



地元の神社の清掃は、地域交流、社会参加にも繋がっています。

流葉牧場から車で5分ほどの所にある「大津神社」の清掃活動に取り組んでいます。週に一回ほどのペースで行い、境内、社務所、トイレなど、敷地内の隅々まできれいにしています。

シーツ畳み、包装



地元企業からの委託作業で、メーカーから運び込まれてきたシーツやピローケースを、一枚一枚折り畳み、袋に入れてパッキングしています。作業が完了した物は検品され、「検品シール」が貼られて納品されます。

ウエスの製造



できたウエスを洗い、布に付いたノリを落とします。

「ウエス」とは、工業機械などに付着した油をふき取る布のことで、5cm×30cmの大きさに切り揃えた布を、ミシンで縫い合わせて製造し、地元企業に納められています。ウエスは、タオルや古着、シーツ等の、不要になった布などで作られ、様々な素材で出来たウエスが、用途に合わせて使用されています。



ウォーム・ワークやぶなみ
山橋 真人

めひの野園軟式野球部でプレーするようになり20年になる。僕は、幼い頃から野球二筋の、いわゆる「コテコテの野球人」ではなく、途中で野球から離れていた時期もあった。それでも自分にとって、野球は身近なもので、その時代を代表するようなスター選手には常に刺激され、影響を受けてきたように思う。

軟式野球を始めた小学生の頃は巨人ファンで、特に、当時4番打者の原辰徳選手がホームランを打つ姿に憧れていた。作文に、「将来の夢はプロ野球選手」と書くほど野球に夢中で、中学進学後も野球部に所属した。ところが、中学2年生時の野球の試合中、母が癌で急死した。その後、自分自身も自転車で転倒し、左足を骨折したことも重なり、高校では野球を続けることは諦め、高校時代はバレーボール部に所属し、しばらく野球とは離れることになった。

専門学校時代、めひの野園での実習中に野球部の練習に参加させてもらい、その後、園に採用が決まってから正式に野球部の一員になった。当時のプロ野球界は、オリックスのイチロー選手が年間200本安打を達成した頃で、自分も同じ左打ちの一番バッターということで、当然イチローを意識してプレーしていた。バットは「イチローモデル」を購入したが、打率はいまいちだった。

それから20年が経ち、プレイヤーとしてはすっかり古株になった。今では息子も小学2年生になり、アルペンスタジアムでの広島・阪神戦を見に行つてから、野球に興味を持ち始めたようで、夏休みには、めひの野園野球部の練習に参加し、秋には小学校の野球部に入部し、トレーニングに励む毎日を送っている。

そんな今、僕が憧れている選手は広島黒田投手。年齢が同じということもあるが、メジャーリーグの高額オファーを断り、古巣愛と、自分を育ててくれたチームへの感謝の想いで広島カープに復帰した男気に感動した。一度野球から離れていた自分であるが、大好きな野球が出来る喜びを再び与えてくれたためひの野園に感謝し、体が続く限り、めひの野園野球部で男気を貫きたいと思っている。



旬魚菜じろう

〒930-0123 富山市呉羽富田町235-6

☎(076)-434-3206

獲れたてきときとの鮮魚、新鮮な旬の野菜、美味しいお酒。素材の旨味を存分に引き出し、「見た目もきれいに美味しく」を信条に、そして何より、楽しく和やかにお食事をしていただける和食家です。

めひの野園の卵やしいたけも新鮮で、当店ではだし巻き玉子や煮物、天ぷらなどの料理でお客をおもてなししており、大変好評です。

早春の候、皆様で美味しい料理やお酒を楽しみませんか。

ご来店を心からお待ちいたしております。



ワンフー 呉羽店

〒930-0173 富山市野口1033-6

☎(076)-427-0888

自家製麺の「野菜たっぷりちゃんぽん」と、本格香味油で作った炒飯が自慢の中国麵飯店です。人気の麵飯ランチ(税込 690 円)の他、各種中華の一品料理などのメニューも取り揃え、ファミリーでも使いやすいお店です。

厳選した小麦粉と黒部のおいしい水で作ったワンフー自慢の自家製麺。動物系スープ、魚介が効いた香り高いスープのラーメン。また、ワンフーの油は、数種類の野菜の旨みを抽出して作った本格香味油！このこだわりで作った絶品炒飯をぜひお召し上がりください！人気 No.1 の、名水ポークと 10 種類の新鮮野菜を使用した手作りギョーザもオススメです。

めひの野園の卵は、人気の炒飯や天津飯はもちろんのこと、ラーメンによく合う味玉や温玉など、メニューにふんだんに使用しております。ぜひ一度、お立ち寄りください！！

天津飯(写真上)、ラーメンの味玉(写真下)は、めひの野園の卵が使用されています。

本誌を持参された方に半熟味玉 1 個サービス致します。

【2016年5月8日(日)まで】

めひの野園を応援してくださるお店を紹介します！

呉羽編

自閉症の方が作り出す素敵な世界

みしまの工房 作品展

3月3日(木)から4月1日(金)まで、北陸銀行五福支店で「みしまの工房作品展」を開催しています。2回目となる今回は、普段はなかなか表に出ない大きな刺繍の作品や、制作した利用者のコメントなども展示しており、見所いっぱいの展覧会になっています。



みしまの工房の利用者が制作した魅力あふれる作品を、多くの方に見ていただく機会になればと思います。北陸銀行五福支店にお寄りの際は、ぜひご覧ください。

素敵な絵はがき届きました。

営業・販売課

まだまだ寒い日が続いていた2月のある日。

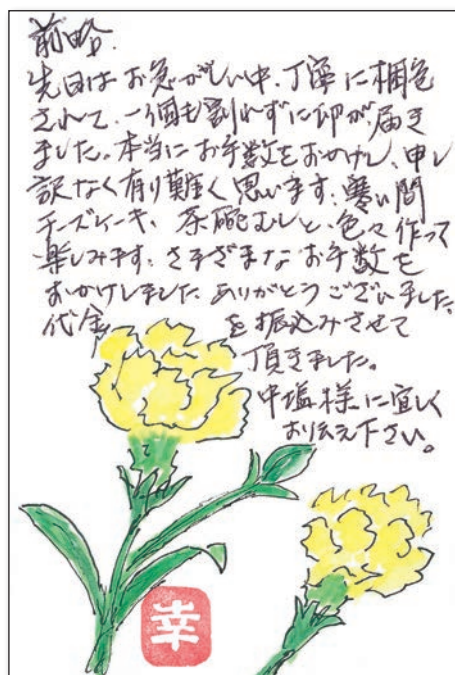
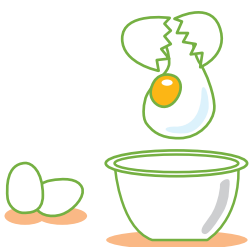
「春はまだ先だなあ…」と思っていたら、お客様から素敵な絵はがきが届き、とてもあたたかい気持ちになりました。

福島県にお住まいのS様。

めひの野園の卵をおいしいと言ってくださり、いつもご注文をいただいています。当園自慢の呉茶玉を、いろいろな料理やお菓子作りにお使いいただいているようで嬉しいです！

遠く離れたS様とお会いしたことはありませんが、心のこもった手書きの絵はがき(写真参照)から、素敵なお人柄と優しさが伝わってきました。

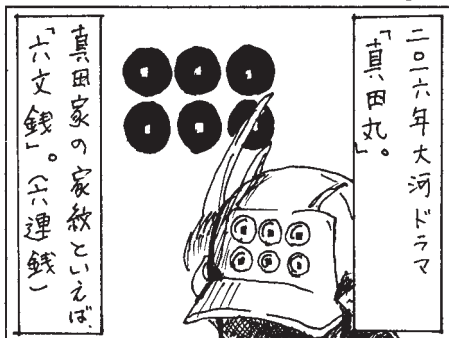
本当にありがとうございます。



とっておきのNEWS満載のコーナー

しいはけくん

第40回 いっぽも財布に六文をの巻



PS「六文」は、今でいうところ 300円ほどの価値だそうです。(描・おかちん)

忘年会・クリスマス会

昨年末に各事業所で行われた忘年会・クリスマス会の様子を紹介します。なお、各事業所の忘年会・クリスマス会には、「NHK 歳末たすけあい」から助成をいただいています。

作業センターふじなみ

ふじなみは12月8日に食堂で忘年会を行いました。日頃お世話になっている地域のお店からお寿司やオードブル、ピザなどを取り寄せ、美味しい料理とカラオケを満喫しました。年末年始の繁忙期を乗り切る意欲が湧きました。

利用者のコメント

ご馳走がいっぱい、お菓子もいっぱい、みんなでカラオケを歌えて幸せでした。

(岩見さん)

いろんなご馳走がたくさん出てきて、お腹いっぱい食べました。

(宮崎さん)



ウォーム・ワークやぶなみ

12月24日のお昼休みにみんなでツリーを囲んでクリスマス会をしました。日頃たまごや野菜の納品でお世話になっている、ふつきーず・くつきーずさんのケーキ、かまどや球場前店さんのオードブル、地元のお寿司屋さんのおいしいお寿司を食べました。プレゼントにはやねのうえのガチョウのクッキーが配られ、大満足のひとときでした。



利用者のコメント

食堂の飾りつけをがんばりました。きれいに飾れてよかったです。お皿などを運ぶ手伝いもしました。

(新村さん)

「NHK 歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられます。

